９　外国語

学校番号	T2101

平成３１年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語基礎	２	１～４	JOYFUL　English Communication Basic

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語基礎の授業では英語の基礎からはじめ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランス良く学習する授業です。英語の基礎的な内容を学習して、それを使ってコミュニケーションがとれることが目的です。ペアワークやプレゼンテーションなどの活動がありますので積極的に参加して英語を習得しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【１～４年次】履修科目：「コミュニケーション英語基礎」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	インタビューテスト スピーキングテスト	趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて書くことができる。	単語テスト 定期考査	ゆっくり、はっきりと発音される、基本的な語句や表現からなる英文の内容を聞き取ることができる。	リスニングテスト 定期考査	日常生活で使われる単語で短い文章（携帯メールや招待状など）を理解することができる。	リーディングテスト 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	英語でコミュニケーションをとることに関心をもち積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で	Can-do リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	Can-do リストによる「聞くこと」「話すこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Warm up (12 時間)	アルファベット ローマ字 辞書の使い方 教室で使う英語	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		アルファベットや日常で使う英語に関心を持つ。 辞書を使うことに関心を持つ。	ワークシートを使って単語を正確に書き、練習する。 ワークシートを使ってリスニングやペアワークを行う。	ペアワークやグループワークにおいて互いに協力しながら学習する。 説明を聞きワークシートを完成させる。	・グループワークの参加状況 ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「外国語表現の能力」			
		アルファベット、ローマ字を使って単語を正確に書くことができる。 場面に応じて適切に英語で表現できる。 辞書の使い方を学ぶ。	アルファベット、ローマ字、簡単な単語を書いたり発音できる。 教室で使われると思われる英語の表現を学習する。	アルファベットや単語を正確に発音をすることができる。 アルファベット、ローマ字、単語を正確に書くことができる。	・発音テスト ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		発音されたアルファベットや単語を正確に聞き取ることができる。 クラスルーム英語を理解することができる。	アルファベット、ローマ字、簡単な単語を読んだり聞いたりできる。 辞書に掲載されている内容が理解できる。	・アルファベットやローマ字、単語を正確に読むことや聞き取ることができる。 ・単語を辞書で調べることができる。	・リスニングテスト ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断 ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		アルファベットの大文字小文字を理解する。身近な英単語とカタカナ語の違いを理解する。	アルファベットの大文字小文字を区別して書く。 クラスルーム英語を状況に応じて使う。 ローマ字と英語の違いを学ぶ。	・アルファベットの大文字小文字を区別してローマ字を書くことができる。 ・教室で使われる語を理解している。	・固有名詞を含む単語テスト ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
Lesson 1 (12 時間)	We choose 一般動詞 動物と人間の違い	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		人間と動物の違いについて関心を持つ。 動詞を学習することに積極的である。	ペアワークを行い、英語の動詞を学習する。 ペアワークやグループワークで人間について話す。	ペアワークを行い人間について発表することができる。	・ペアワークの参加状況 ・発表の観察 ・定期考査
		「外国語表現の能力」			
		一般動詞を使って表現することができる。	一般動詞を使った文章を書く。 一般動詞を使った文章を話す。	一般動詞を使った文章を書くことができる。 ペアワークを行い一般動詞を使った文章を話すことができる。	・ペアワークの参加状況 ・発表の観察 ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「外国語理解の能力」			
		be 動詞、一般動詞を使った表現を理解する。 英語でされた自己紹介を理解することができる。	be 動詞、一般動詞を使った文章を読み、聞きし、内容を理解する。	be 動詞、一般動詞を使った文章を正確に理解できる。 英語の自己紹介を理解できる。	・定期考査 ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「言語や文化についての知識・理解」			
		自分や自分の文化について紹介する。 動詞について理解する。	自分の文化を多文化の人に分かりやすく紹介することができる。 動詞を使って自己紹介をする。	英語で自己紹介を be 動詞、一般動詞を使ってできる。	・ペアワーク発表の参加状況 ・ワークシートの完成度で取り組み状況を判断

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (10 時間)	World foods 一般動詞 三単現の s 世界の食べ物 日本の食べ物	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		世界の食べ物について興味をもつ。 日本の食べ物について紹介する。	ペアワークを行い、英語の動詞の活用を学習する。 ペアワークで世界や日本の食べ物について話す。	ペアワークやグループワークにおいて互いに協力しながら学習する。 説明を聞きワークシートを完成させる。	・ペアワークやグループワークの参加状況 ・ワークシートを提出させ、その完成度で取り組み状況を判断
		「外国語表現の能力」			
		世界の食べ物に関する表現を学ぶ。 日本の食べ物を紹介できるように表現を学ぶ。 ３単現について学習する。	世界の食べ物に関する単語や表現を書いたり話したりする。 日本の食べ物を紹介できるように表現を学ぶ。 ３単現について学習する。	ペアワークで世界の食べ物や日本の食べ物について英語で話す。 一般動詞と３単現の違いについて理解できる。	・発音テスト ・ワークシートを提出させ、その完成度で取り組み状況を判断 ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		世界の食べ物に関する表現を読んだり聞いたりして理解できる。 ３単現について理解できる。	ペアワークを行い、世界の食べ物や日本の食べ物についての表現を読み聞きし英語を理解できる。	ペアワークで世界の食べ物や日本の食べ物について表現を理解することができる。	・定期考査 ・ワークシートを提出させ、その完成度で取り組み状況を判断
		「言語や文化についての知識・理解」			
		世界の食べ物や日本の食べ物の違いについて学習する。	ペアワークを行い世界の食べ物や日本の食べ物の違いについて話す。	ペアワークで世界の食べ物や日本の食べ物の違いについて話したことを発表する。	・ペアワーク発表の参加状況
Lesson 3 (10 時間)	三線 沖縄の音楽と人々の心 be 動詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		沖縄の音楽に興味をもつ。 be 動詞の違いについて関心をもつ。	ペアワークを行い、be 動詞の活用を学習する。 ペアワークで沖縄の音楽や人々の心について話す。	ペアワークやグループワークにおいて互いに協力しながら学習する。 説明を聞きワークシートを完成させる。	・ペアワークやグループワークの参加状況 ・ワークシートを提出させ、その完成度で取り組み状況を判断
		「外国語表現の能力」			
		音楽に関する表現を学ぶ。 Be 動詞を区別して表現する。	ペアワークで音楽や沖縄に関する単語や表現を書いたり話したりする。 be 動詞について表現する。	音楽や沖縄に関する単語や表現を読んで理解できる。 be 動詞について表現できる。	・発音テスト ・ペアワークの参加状況 ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		音楽に関する表現を学ぶ。 be 動詞の違いについて学習する。	ペアワークで音楽や沖縄に関する単語や表現を書いたり話したりする。 be 動詞について表現する。	ペアワークで音楽や沖縄に関する単語や表現を書いたり話したりできる。	・リスニングテスト ・ワークシートを提出させ、その完成度で取り組み状況を判断 ・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		沖縄の音楽や文化について学習し、理解する。 沖縄の人々の心について学習する。	ペアワークで沖縄の音楽や文化について学習する。 ペアワークで沖縄について話す。	ペアワークで音楽や沖縄に関することを話し理解する。	・ペアワークの参加状況 ・ペアワークの発表